

HINO

REPORT

2016年4月1日から2016年9月30日まで



日野自動車株式会社

証券コード 7205

持続的成長に向けた取り組みを着実に推進



代表取締役社長 市橋 保彦

HINO REPORTをお届けするにあたり、代表取締役社長の市橋保彦より、ご挨拶申し上げます。

ご挨拶・上期総括

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業活動にご理解、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度上期につきましては、国内市場は引き続き堅調に推移したものの、海外市場は、新興国を中心に減速傾向が続きました。損益面では為替環境の悪化等も影響し、連結売上高は7,991億円、営業利益は329億円、純利益は226億円となりました。

下期の見通しにつきましては、国内市場は引き続き底堅く推移するものの、新興国市場の減速や為替など、当面は厳しい経営環境が継続すると想定しています。また、世界経済の動向や地政学リスクに加え、各国の政治動向にも注視していく必要があると考えています。

通期の業績予想としましては、足元の国内外の市場動向や為替動向等を踏まえ、本年4月に公表した予想を見直し、売上高1兆6,700億円を1兆6,300億円に、営業利益800億円を600億円に、純利益550億円を410億円に、それぞれ修正いたしました。依然として先行き不透明な状況ではありますが、全社一丸となって取り組んでまいり所存です。あわせて、将来の持続的成長に向けた取り組みを引き続き着実に推進して

まいります。

なお、「未定」としておりました今期配当につきましては、高水準な投資と財務体質改善を並行して進める中で、配当性向3割を目安とし、1株につき年間22円とさせていただきたいと考えております。そのうち、中間配当を11円とさせていただきます。期末配当も11円とさせていただく予定です。

将来の持続的成長に向けて

当社は、「良い商品」と「トータルサポート」でお客様のビジネスを支えることが、事業の土台であると考えています。この土台をより強固にしながら、収益力の向上・財務体質の改善に並行して取り組むことで安定した経営基盤を作り上げ、持続的成長の実現を目指しています。

この一環として、例えば「良い商品」の分野では、より安全で経済的な新商品の開発を進めており、17

年には日本市場への投入を開始いたします。また、「良い商品」をタイムリーにお客様にお届けするために、生産・供給体制の最適化も推進中であり、いよいよ来年初には、古河新工場が本格稼働となります。また、「トータルサポート」の分野では、より多くのお客様にスピーディで高品質なサービスを提供するため、世界中でネットワークの強化に取り組んでいます。

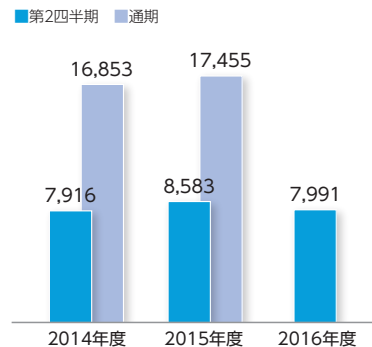
これら将来の持続的成長に向けた取り組みは、短期的な経営環境の変化に関わらず、スピード感を持って実行し、着実な成果につなげてまいります。そして、当社の使命である「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

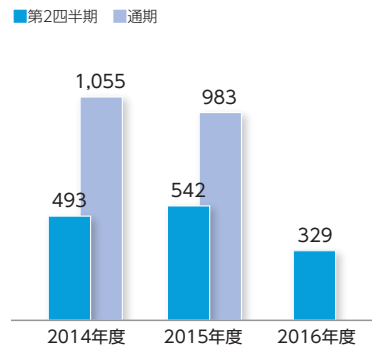
財務ハイライト

(単位：億円)

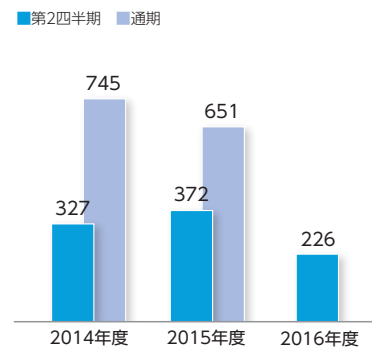
売上高



営業利益

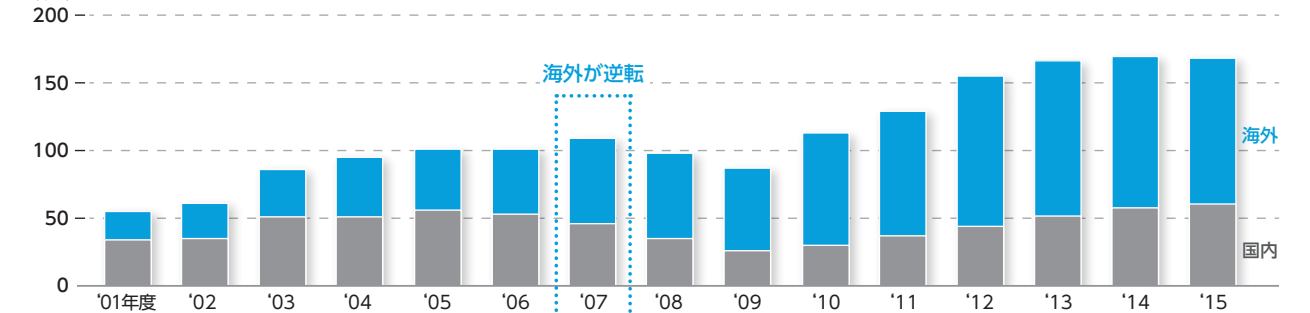


親会社株主に帰属する当期純利益



販売台数の推移

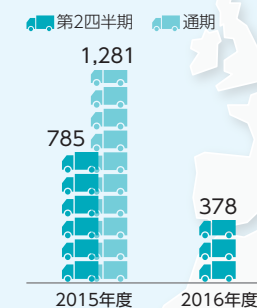
トラック/バス販売台数 (千台)



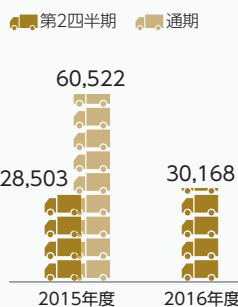
今年度上期のグローバル販売状況と主な海外トピックスを紹介します。

今年度上期の状況 (単位: 台)

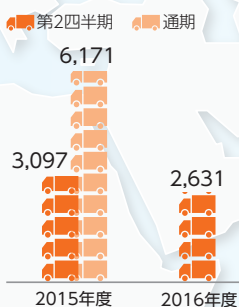
欧州



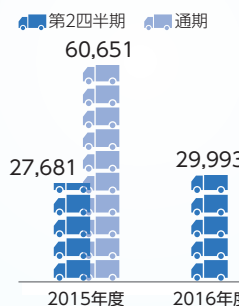
アジア



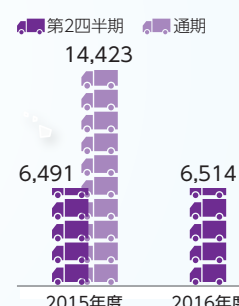
中近東



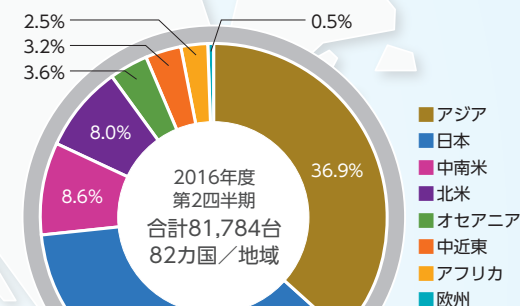
日本



北米



地域別販売構成比



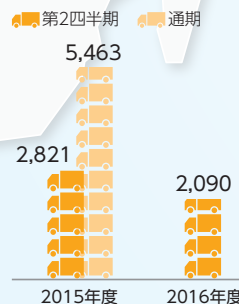
パキスタン製造・販売子会社が設立30周年

パキスタンにおける製造・販売子会社である「日野パック モーターズ株式会社」(日野パック)は設立30周年記念式典を7月にイスラマバードで開催しました。式典には、ディーラーとお客様を来賓に迎え、更なる関係深化を図るとともに、一体感を高めることができました。今後もお客様とパキスタンの更なる発展に貢献できるよう努めていきます。

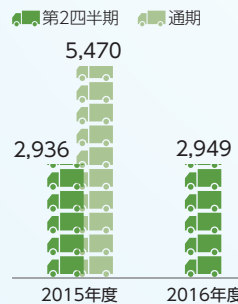


お客様へ感謝状を渡す日野パックの武藤社長 (左から2人目)

アフリカ



オセアニア



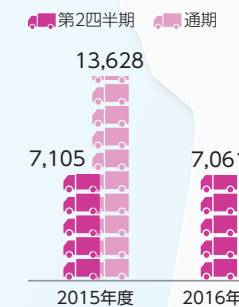
ベトナム製造・販売子会社が設立20周年

ベトナムにおける製造・販売子会社である「日野モーターズ ベトナム有限公司」(日野ベトナム)は設立20周年記念式典を7月にハノイで開催しました。式典には、現地政府・日本大使館・パートナー企業などから多くの来賓を迎えました。今後も、お客様に適した商品の提供とトータルサポート活動を通じて、ベトナム社会の一層の発展に貢献していきます。



記念碑の前での関係者集合写真

中南米



ニュース & トピックス 1

新ラインアップ商品を発売 ～各種イベントにも出展～

日野は小型トラック「日野デュトロ」を改良して、5月に発売しました。今回の改良では、新たに衝突被害軽減ブレーキ「PCS※」および「車線逸脱警報」を標準装備とした車型を設定し、安全装備の一層の充実を図りました。また、中型路線バス「日野レインボーⅡ」をモデルチェンジし、「日野レインボー」として5月に発売しました。「日野レインボー」は、AMT（機械式自動変速機）の採用と新開発のボデーによる軽量化により全車で重量車燃費基準を達成しています。



新型「日野デュトロ」



新型「日野レインボー」

※：プリクラッシュセーフティ「PCS」はトヨタ自動車(株)の登録商標です。

また、5月にパシフィコ横浜にて開催された「自動車技術展・人とくるまのテクノロジー展2016横浜」、6月にポートメッセなごやにて開催された「自動車技術展・人とくるまのテクノロジー展2016名古屋」に小型トラック「日野デュトロ」を、9月に神奈川県のパシフィコ横浜にて開催された「ジャパントラックショー2016」に大型トラック「日野プロフィア 電動冷凍車」を出展するなどし、日野の充実した商品ラインナップや技術力の高さを広くアピールしました。



日野展示ブース
(人とくるまのテクノロジー展2016横浜)



日野プロフィア 電動冷凍車
(ジャパントラックショー2016)

ニュース & トピックス 2

先進技術開発を推進

～トラック・バスの自動走行・高度運転支援に向けたITS技術の共同開発で合意～

日野は、いすゞ自動車株式会社と本年5月、安心・安全な交通社会の実現に向けた高度運転支援に関わるITS技術を共同開発することに合意いたしました。この合意に基づき、自動運転システムの実用化に向けてのベース技術となるITS（路車間・車車間通信）システムや高度運転支援（自動操舵・隊列走行）技術について、両社で共同開発を実施します。そして共同開発したITS技術・高度運転支援技術を、将来はそれぞれのトラックやバスといった製品に搭載し、普及に努めることで、安心・安全な交通社会の実現に貢献してまいります。

ニュース & トピックス 3

生産・供給体制の最適化を推進 ～古河工場は2017年初に本格稼働を開始～

日野は、構造改革の柱として、生産・供給体制の最適化をグローバルに推進しています。その一環で、大中型車両生産のマザー工場となる古河工場では、本格稼働に向けた準備を進めており、7月から一部車種の生産をはじめました。今後は各工程内の設備導入などをさらに推し進め、2017年の年初には、本格的に稼働を開始します。



7月から一部車両の生産をはじめた古河工場

ニュース & トピックス 4

トータルサポートの取り組み ～サービス体制を強化～

日野は、車両の販売に加えて、整備や点検、部品供給などでお客様のビジネスに貢献するトータルサポートの強化を進めています。この活動の一環として、国内では販売会社の拠点リニューアル、リロケーションなどを通じてお客様利便性の向上に努めています。

また、このリニューアルやリロケーションに合わせて、特に販売に注力している小型トラックのサービス体制強化にも取り組んでいます。



東京日野 八王子支店
(2016年8月 リニューアル)



北海道日野 本社・札幌支店
(2016年9月 リニューアル)

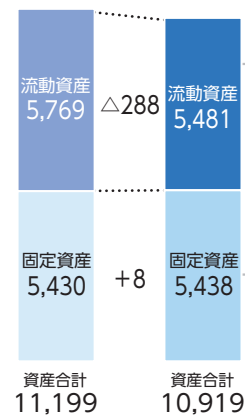


島根日野 石見支店
(2016年9月 統合、移転)

連結貸借対照表

2015年度末
2016年3月31日現在

(単位：億円)

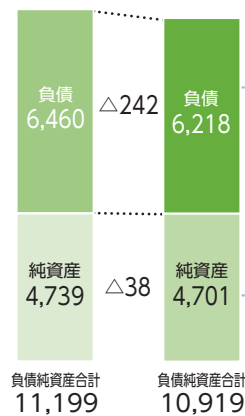


● **流動資産** $\Delta 288$ 億円
売掛債権が214億円減少したこと等によるものです。

● **固定資産** $+8$ 億円
生産設備を中心とした設備投資を375億円行っており、有形固定資産が70億円増加した一方で、投資その他の資産が47億円減少したこと等によるものです。

2015年度末
2016年3月31日現在

(単位：億円)



● **負債** $\Delta 242$ 億円
未払金が194億円減少したことおよび、買掛債務が83億円減少したこと等によるものです。

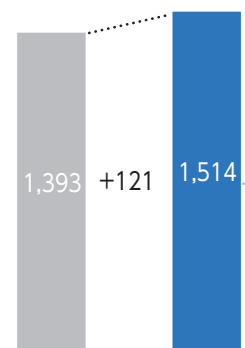
● **純資産** $\Delta 38$ 億円
純利益を226億円計上しましたが、剰余金の配当と換算差額等により、純資産が減少しました。

有利子負債

(単位：億円)

有利子負債とは、短期借入金、長期借入金およびコマーシャル・ペーパーを合計した金額です。

2015年度末
2016年度第2四半期末

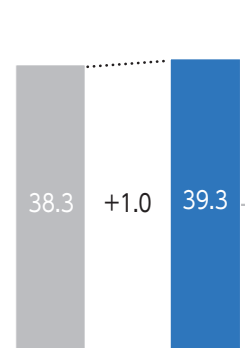


● **有利子負債** $+121$ 億円
設備投資・配当金等の資金需要の増加に伴い、有利子負債が増加しました。

自己資本比率

(単位：%)

2015年度末
2016年度第2四半期末



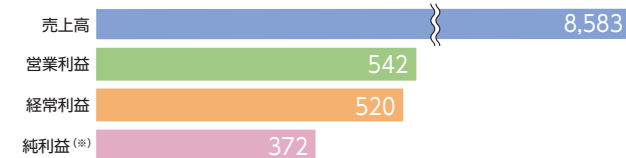
● **自己資本比率**
前期末に比べ1.0P上昇の39.3%となりました。

連結損益計算書

(単位：億円)

2015年度第2四半期
2015年4月1日から2015年9月30日まで

() 内は対前年同期増減率

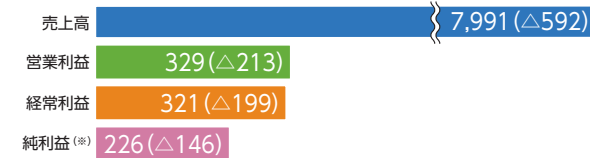


● **売上高** $\Delta 592$ 億円 ($\Delta 6.9\%$)
国内向けの販売台数が増加した一方で、海外向け車両の台数減および為替円高の影響等により、減収となりました。

● **営業利益** $\Delta 213$ 億円 ($\Delta 39.3\%$)
売上高の減少および為替円高の影響等により、減益となりました。

● **純利益** $\Delta 146$ 億円 ($\Delta 39.3\%$)
主として、営業利益の減少等により、減益となりました。

2016年度第2四半期
2016年4月1日から2016年9月30日まで

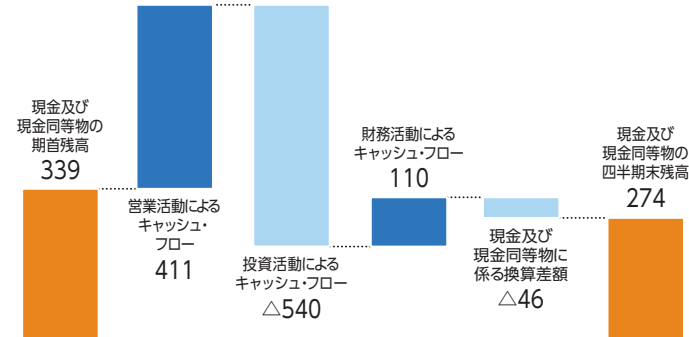


※親会社株主に帰属する当期純利益

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

2016年度第2四半期
2016年4月1日から2016年9月30日まで



● **営業活動によるキャッシュ・フロー** $+411$ 億円
税金等調整前四半期純利益の計上が326億円あったこと等によるものです。

● **投資活動によるキャッシュ・フロー** $\Delta 540$ 億円
生産設備を中心とした有形固定資産の取得による支出が532億円あったこと等によるものです。

● **財務活動によるキャッシュ・フロー** $+110$ 億円
必要資金をコマーシャル・ペーパーの発行等により調達しました。

会社概要	
日野自動車株式会社 HINO MOTORS, LTD.	
創 業	1910年(明治43年)
設 立	1942年(昭和17年)5月1日
資 本 金	72,717,284,641円
主要な事業所 および工場	本社・日野工場 東京都日野市日野台3丁目1番地1 〒191-8660 電話 (042) 586-5111 羽村工場 東京都羽村市緑ヶ丘3丁目1番地1 〒205-8660 電話 (042) 579-0411 新田工場 群馬県太田市新田早川町10番地1 〒370-0344 電話 (0276) 56-5111 古河工場 茨城県古河市市崎1番地 〒306-0110 電話 (0280) 67-3500 茨城テストコース 茨城県常陸大宮市長倉2023番地 〒311-4613 電話 (0295) 55-3122 北海道芽室テストコース 北海道河西部芽室町雄馬別14線26番地1 〒082-0382 電話 (0155) 66-2511 日高配車センター 埼玉県日高市上鹿山689番地1 〒350-1234 電話 (042) 985-4747 青梅部品センター 東京都青梅市末広町1丁目5番1号 〒198-0025 電話 (0428) 32-9911
ウェブサイト	http://www.hino.co.jp/

取締役・監査役

代表取締役会長	市川 正和	取 締 役	萩原 敏孝 ^{*1}
代表取締役社長	市橋 保彦	取 締 役	吉田 元一 ^{*1}
取締役副社長	毛利 悟	取 締 役	寺師 茂樹
取締役副社長	小梶 博	常勤監査役	前田 義秀
取締役副社長	鈴木 賢二	常勤監査役	山本 瑞穂
取締役・専務役員	遠藤 真	監 査 役	辻井 昭雄 ^{*2}
取締役・専務役員	梶川 宏	監 査 役	北村 敬子 ^{*2}
取締役・専務役員	中根 健人		

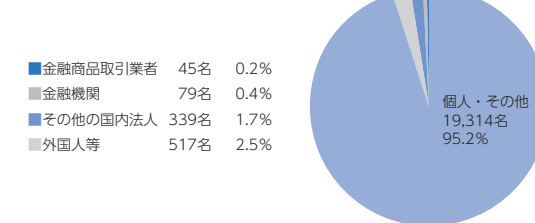
*1 社外取締役 *2 社外監査役

株主の状況		
発行済株式総数	574,580,850株	
株 主 数	21,587名(前期末比731名減)	
大 株 主		
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
トヨタ自動車株式会社	287,897	50.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	36,863	6.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,697	3.61
ザバンク オブ ニューヨーク ノントリーティー ジャスデック アカウト	7,462	1.30
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	5,285	0.92
資産管理サービス信託銀行株式会社(投信受入担保口)	5,240	0.91
東京海上日動火災保険株式会社	4,884	0.85
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	4,608	0.80
株式会社永坂産業	4,255	0.74
日清紡ホールディングス株式会社	4,209	0.73

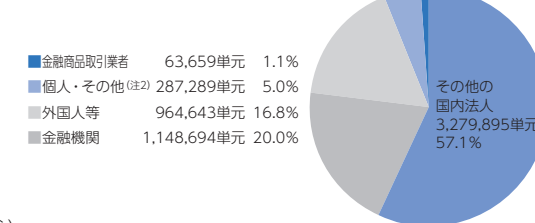
(注) 持株比率は自己株式(962千株)を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況

株主数および比率(合計 20,294名)^(注1)



株式数および比率(合計 5,744,180単元)^(注1)



(注)
 1. 上記株主数、株式数には、単元未満株主1,293名、単元未満株式162,850株は含まれておりません。
 2. 「個人・その他」には、自己株式が9,629単元含まれております。また、1.の単元未満株式には自己株式が86株含まれております。

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 確 定 日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株式に関する手数料	単元未満株式買取手数料 無料
公 告 方 法	以下の当社ウェブサイトにて電子公告により行います。 http://www.hino.co.jp/j/corporate/ir/koukoku/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京、名古屋各証券取引所
証 券 コ ー ド	7205
1 単 元 の 株 式 数	100株

◇特別口座について
 特別口座とは、株券電子化(2009年1月5日)の実施までに、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様の権利を保全するために、当社が三菱UFJ信託銀行株式会社に開設した口座です。

◇特別口座の留意事項
 ・特別口座に記録された株式を売却するには、株主様が証券会社等に口座を開設し、株式の振替を行う必要があります。
 ※単元未満株式の買取請求は特別口座のままでも可能です。当社の買取手数料は無料ですので、是非ご活用ください。
 ・特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお願いいたしません。

【(ご案内) 少額投資非課税制度口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて】

新規に購入された当社株式をNISA口座で所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である株式数比例配分方式をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当金につき株式数比例配分方式をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間配当金の株主確定日までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けください。
 NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

【株式に関するお手続きの窓口について】

◇特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○特別口座から証券会社等の口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定	特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-7111(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00) ※三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	[手続書類のご請求方法] 電話およびインターネットにより24時間承っております。 ○音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479 ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufj.jp/daikou/

◇証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-7111(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

日野自動車株式会社

〒191-8660

東京都日野市日野台3丁目1番地1

電話 (042) 586-5111 (代表)

<http://www.hino.co.jp/>

ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に基づき、
より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

